

令和8年度梶田小学校における体罰防止の取組について

＜体罰防止のスローガン＞ 梶田小体罰0（ゼロ）宣言！ 「よ・い・お・と・な」になろう！！

梶田小の取組①

知識・理解 「STOP 体罰」(都教育委員会作成)による校内研修実施

梶田小の取組②

意識改革 指導改善 学校のスローガンを確認
管理職と教員一人一人との全員面談
毎月、体罰防止のセルフチェックを実施

よ…よいところを褒めよう
い…いつも笑顔を大切に
お…怒らず叱ろう
と…止まって深呼吸
な…なんでも話し合おう

教職員の意識改革に努め、指導力を高めます

- 体罰を「愛の鞭」「厳しい指導」と正当化することなく、また、「信頼関係があるから大丈夫」といった考えも払拭し、全教職員が体罰根絶に向けて意識を改革していきます。
- 教職員が日頃の指導や言動を振り返り、体罰によらない指導法や、児童への関わり方について、事例を想定しながら研修していきます。

体罰のない生活指導体制を構築します

- 児童の話に耳を傾け、複数の教職員で指導に当たります。
 - 自主自律の精神を育成するために、教育活動全体をとおして、日頃から自己肯定感や自己有用感を育む指導を実践し、共感的な人間関係を築いていきます。
- 

学校体制の見直しを図ります

- 体罰防止チェックシートを活用して毎月、自己点検を行っていきます。
- 児童が何でも気軽に話せる環境づくりなど教育相談体制の充実に努め、悩みや不安が深刻化しないように留意し、教職員が児童へ積極的に声かけをします。
- 児童の様々な生活面での課題については、学校全体で情報を共有し、組織的な対応を図り、きめ細かく指導をしていきます。

保護者・地域との連携を図ります

- 保護者や地域、関係機関との情報交換、意見交換のできる機会を増やし、学校の教育方針を明確に示し、理解と協力を得ることで、児童を地域全体で見守っていく体制をつくっていきます。
- 保護者会等で学校として体罰否定の方針を説明するとともに、家庭や地域における虐待や体罰の防止を含む継続的な啓発を進めていきます。

校長のリーダーシップの下、教員の意識改革を図り、体罰根絶に向けて教職員が一丸となって組織的に取り組みます！